

『ふくいのリのりマップ』

京福バス市内バス案内所にデビュー！！



関連記事 7 ページ

撮影 / 林博

活動報告

- 8月21日 越前市地域公共交通会議
- 22日 事務局会議
- 23日 中部地区路面電車サミット in 関
- 28日 路面電車サミット実行委員会
- 29日 事務局会議
- 9月4日 事務局会議
- 9日 サミット実行委員会
- 12日 事務局会議
- 16日 サミット合唱団練習下見
- 18日 例会・理事会

今後の予定

- 9月21日(日) カーフリーデーふくい2008
- 26日(金) 事務局会議
- 26日(金) 福井市地域生活交通活性化会議
- 30日(火) サミット実行委員会
- 10月3日(金) 事務局会議
- 10日(金) 例会・理事会
- 10日以降 ミーティングテーブル プレゼン
- 14日(火) サミット実行委員会(最終)
- 17日~19日 全国路面電車サミット福井大会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

LRTと持続可能なまちづくり

副題: 都市アメニティの向上と環境負荷の低減を目指して
青山吉隆、小谷通泰編著 学芸出版社 4200円+税

ISBN978-4-7615-4082-1 C0052

最近LRT本を紹介することが少なくなっていたこの書評欄ですが、久しぶりに重厚な「路面電車とまちづくりの書」が出版されました。グラフなどのデータも豊富で、LRTを事業化しようとしている自治体職員や、団体メンバーが人に説明するネタ本として最適のように、LRTを使うとどのような町ができるのか、CO2削減効果など、豊富なデータと写真で解説された本です。

単に趣味で書いたというより、LRT普及を願う先生方の熱意も感じられます。少々値が張りますが、ROBAの会員にはきっと元が取れる必読の書です。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

平成 20 年度第 1 回越前市地域公共交通会議 報告

高橋 八州太郎

日時：平成 20 年 8 月 21 日（木）14:00～15:30

場所：越前市生涯学習センター 2 階 第 2 研修室

ROBA を代表しまして、高橋が出席しましたので、簡単に報告します。

委員

会長：川上教授、副会長：大柳区長会連合会会長、民生委員、武生東高校 PTA、老人クラブ、
県高校 PTA 連合会、商工会議所、青年会議所、バス協会、丹南土木事務所、越前警察署、
県交通運輸産業労働組合協議会、福井鉄道、

報告

組織改変、所属組織の人事変更により若干変更により委員の変更があったことの報告がなされた。
人員も 20 名から 18 名に変更となった。

報告事項

市民バス実績について

平成 18 年度合計 87,387 人、平成 19 年度 95,532 人と着実に利用実績が上がっている（9.3%増）。ルートの変更等の見直しの効果が出てきたと評価。また 7 月間までの 3 年の実績は、H18・27,100 人、H19・31,238 人、H20・34,022 人と 9～15%の伸び率を示し昨今のガソリン高騰の影響も追い風となった。

運転免許自主返納支援事業について

65 歳以上の方の運転免許自主返納者は H19・10 月より開始しこれまで 38 名となり、うち無料乗車券交付者は 34 名となり 4 名は病気等により歩行困難の方であった。また、無料乗車権利者数は月平均 20 回であることも報告された。

福祉バスの乗車状況について

路線バス利用券を所持されている方で 65 歳以上の者、身体障害者手帳等を持っている方は火曜日、金曜日は 100 円で利用できるシステムで H18・26,810 人、H19・27,782 人と微増しており、福祉バスが浸透していることがわかる。

地域公共交通に関するコストについて

市民バス、路線バス、福井鉄道に関する補助金と支出額の実支出額を H18 と H19 を比較すると、H19 の実支出額は 10,029,218 円で H18 より約 800 万円程越前市の持ち出しが減少した。一方、市民バス（コミュニティバス）の 1 人当りのコストは H18 では 359 円/人、H19 で 308 円/人となり経営効率がアップした。

協議事項

H21 の市民バス運行委託方式について

H20 では公募提案型委託契約を実行し、前述したように一定の評価を得ており、協議会で H21 の運行委託については単年度契約とし、運行内容の見直しを反映したうえで H22 は複数年度とすることについて協議がなされた。私からは評価項目の配点について確認したが、検討中という返答だった。また、他の委員から公募型なのでアイデア次第では、運行経費が予定額より多い場合もあり得るのかとの質疑には、予算の範囲内であれば可能との説明を受け、特に他からの質問がなく委員の賛意を得て原案とおり議決された。

福井鉄道福武線について

福武線利用促進について

福井鉄道福武線について今までの経過について資料に基づいて詳細な説明がなされた。

利用促進については福武線沿線で5月下旬に鯖江市、越前市、福井市が相次いで協議会、市民会議が結成され、更に沿線3市の利用促進団体の代表で構成される協議会も6月中旬に設立され、それぞれが利用促進をすることが確認された。

福井鉄道福武線活性化総合連携計画の策定について

連携計画を立てることにより、国の「地域公共交通活性化・再生事業」、「鉄道事業再生構築事業」による支援を年度内に受けることを目指し現在急ピッチで策定中であることが報告された。

その一環として、法定協議会である「福井鉄道福武線活性化連携協議会」が計6,000名のアンケートを実施し、8月末に回収する事となっている。これらの意見をまとめて計画に反映することとしている。

その中で特に特筆すべき事項について記します。鉄道事業再構築実施計画の策定の中で「事業構造の変更の内容」という事項については、いわゆる「福井方式」と言われる方式を採用した。(下図参照)

法定協議会である「福井鉄道福武線活性化協議会」が沿線6,000名(沿線3市それぞれ2,000名)を対象に行い連携計画に反映するため、8月中にアンケートをまとめていることの報告がなされた。

カー・セーブ運動について

福井県が推進している「カー・セーブ運動」は毎月第2、第4週の金曜日を「カー・セーブ運動」と定めているが、越前市においては独自に毎週金曜日とし、クルマ通勤の38%にあたる200余名が参加しているとの報告がなされた。また、片道2km以内の移動には、公務に支障がない範囲で公用自転車を活用するよう徹底周知している報告がなされた。

越前市が福井市、鯖江市方面へ公務出張する場合に福井鉄道福武線を利用するよう努めた結果、昨年同月比で約3倍の利用となったことが報告された。

「CO2CO2(コソコソ)ダイエット大作戦」を383世帯の登録がなされたことが報告された。3ヶ月後にその取組を報告すると、「のろっさ回数券5枚」または「土日祝日フリー券」が進呈され、利用促進を図っていることの報告がなされた。

その他

武生青年会議所より、現在福武線利用促進のいろいろな仕掛けを行っており、8月24日にもイベントを開催し、その際ROBA会長より講演してもらい、また沿線の方を対象に福武線に関するアンケートを8月中に実施し、更にその結果を10月開催される「全国路面電車サミット」で発表するとの報告がなされ、私の方からは、大会チラシを元に10月17日～19日にアオッサ及び織協ビルにおいて「全国路面電車サミット」が開催されることを説明、フリー切符で福武線を利用して来ていただくようお願いした。次いで川上会長からは、越前市側としては、これを機会に越前市にも福井市から人を呼ぶ仕組みも検討してはどうかとの提案がなされた。

三国花火大会 車でのアクセス結果

鳥居 健

前号のROBANEWSで三国花火大会のえちぜん鉄道臨時ダイヤについて書かせていただきましたが、今年は義父母、妻を含めた4人で出かけたため、東尋坊駐車場に車を止めて会場まで30分余り歩く方法を選択しました。

地図に示す通り、嶺北縦貫道を北上して旧三国町や旧芦原町の中心部を避けるように迂回したところ、行きは渋滞もなく快適でしたが、帰りは同じ道で渋滞につかまりました。それでも行きより30分程余計にかかっただけで、駅で長時間並んで電車を待っているよりも早く帰れたこととなります。帰路で、嶺北縦貫道の東長田交差点を南下する際に、えち鉄西長田駅のパークアンドライド利用者と思われる大量の車が東に向かっていました。

前号では、花火大会終了から1時間後の21:30頃に東尋坊からバスを出発させて、JR芦原温泉駅22:35発の普通列車に連絡できないかとの提案をさせていただきましたが、花火大会終了直後は東尋坊まで歩く人が多くてなかなか駐車場までたどり着けず、とても無理であることがわかりました。実際、東尋坊駐車場内に止まっていた団体ツアーバスには、21:30の時点で客がほとんど戻っていませんでした。

帰路、福井方面へは迂回を勧める看板が出ていた(地図上矢印方向)ので、この案内に従って行けば、もう少しスムーズに走っていたかもしれません。最後に余談ですが、もし国鉄三国線が廃止されていなければ、三国花火大会臨時列車の輸送力も十分確保できたのではないかと思います。残念でなりません。



ボランティア・市民活動資金支援プログラムへの応募結果

鳥居 健

このたび、弊社のボランティア・市民活動資金支援プログラムに応募させていただき、おかげさまで支援金をいただくことができました。

このプログラムは、パナソニック(松下)グループの社員、社員の家族、定年退職者が活動しているボランティア活動や市民活動に対して、審査の結果支援金が補助される制度です。手続きが面倒で審査が厳しいのではないかとの思いもあり、制度を知っていながら今までなかなか応募する決断ができなかったのですが、今回、路面電車サミット開催で資金が必要なため申請したところ、活動内容やサミット開催の意義を認めていただき、審査を無事パスすることができました。皆様には、普段から活動の記録をきちんとまとめていただいているため、今回の審査過程で受けた事務局からの質問にもスムーズに対応でき、全く問題ありませんでした。この場を借りて御礼申し上げます。なお、質問いただいた主な内容は、 : サミットの開催目的について : 昨年度の決算書(地域環境研究所からの助成金とマップ事業の収支)について : サミットの予算・計画書について : サミットの参加・協力団体についてでした。

■8月23日、24日の2日間の開催でROBAからは、内田会長、清水理事、塚谷会員、高橋が参加しました。回を数えて今年は第7回となり、タイトルも「中部地区路面電車サミット in 電車がなくなった町「関」と銘打って開催されました。初日の夜は懇親会、翌日はエクスカージョンが予定されていた。しかし、ROBAのメンバーはサミットの準備等から初日のサミット会議終了後、会場を後にして走って、電車に乗り込みました。



サミットの看板



電車の必要性を訴える看板

■各地からいろいろな報告がなされたが、個々の説明は省略するとして、今回の参加のなかに静岡市から参加している「LRTで結ぶ会」が参加。全会のサミットからの参加。ここでもLRTを構築しようとしている地域です。そしてネットワークだなと感じたのは、この地域をRACDA高岡が交流会をしていました。どう、運動を進めていいかわからないなか、このような交流こそが「サミット」の大きな意義だなと実感した。

さて、関市に焦点を当ててみると、関市のフリーペーパーの中に今回のサミットの市民オブザーバーの募集広告が掲載されていました。聞くとフリーペーパー編集しているメンバーが関市サミットの実行委員会の一員だとか。

■既に線路がないところから「LRT」を進めていくことは大変なエネルギーが必要だと思います。しかし、一方、母都市の岐阜市はどうなっているのか？が気がりとなります。今回も岐阜未来研究団のメンバーがいろいろなところで今回のサミットの応援をしていることに安心しました。

何と云っても、母都市がきちんとするか、末梢神経の端の町・関市がものすごいエネルギーで頑張るかしかありません。その点、福井は2度の事故、約2年間の運行停止を経ましたが、結果は見事なものです。そんなことを東京の個人の方が、鉄道存廃問題を京福電鉄(えちぜん鉄道)と岐阜市内線の2線を事業者、行政、市民団体を時系列にまとめたものを発表してくれました。

これを参考に何とか、しようとの思いが伝わりました。当然関係者しかわからないことも多々ありますが、よくまとまっているなと感じました。

■今後、関市が存続への活動を進めていくには、関市内の活動を活発化させるためには、岐阜市との連携が更に重要になるのかなと思う。

ある意味、今回の関市のサミットでのタイトル『オープンサミット in 電車がなくなった街・岐阜』と題して岐阜市内で中部地区路面電車サミットを実行するのは「逆転」の発想でいけるのではないかなどと不埒な思いをしました。

なんとも云っても、岐阜市内の市民団体の復活をすることが、中部地区路面電車のサミットの大きな目標ではないかと思いました。

- ◆ 関市という電車が走っていない地域での開催である。岐阜市市内から関市まで美濃町線が走っていたものの、2005年3月末にて廃線となってしまった。美濃町線を走っていた800形の部分低床電車が2006年4月に福武線に導入されたというのは何か因縁めいている。
関市の市民がなんとかまた電車を走らせようと活動をしている。そして、新しく電車をスタートさせるにはLRTとして再生させたい、という熱い思いから関市で開催された。
- ◆ 今回の中部地区サミットで私がいちばんに思ったのは、沿線を中心に地域の住民が廃線となってどのような“不便”を感じているのだろうか、ということである。今まで走っていた電車が急に無くなってしまったわけである。利用者にとってみれば不便であることには間違いないだろうが、どうしてその声が出ないのだろうか。その声を十分拾い集められていないからではないだろうか。あるいはそんなに不便を感じていないのでは？といった疑問である。
- ◆ 美濃町線の線路はすでに撤去されている。これをまた導入しようと叫んでも、現実問題としてコストを考えると以前より増して大きなニーズがないことには無理である。
また、沿線市の議会はどういう反応だろうか。学校関係は、PTAは、老人会は、という具合に交通弱者といわれる人たちがどう感じているのだろうか知りたいところでもある。
- ◆ そんなことで、一生懸命活動している仲間には申し訳ないが、活動の組織、やり方をもう一度考えていかないと、現状を見ている限り将来の見込みは全くないだろう。
八方ふさがりの状況を見てアドバイスの言葉も失ったサミットであった。



円卓式に配置された会議風景

寝坊して会場に到着したのは正午過ぎ。鉄道では岐阜から直接行けず、交通の便が悪いためか前回（高岡）に比べて参加者は少なめ。少ないけれども熱い議論が交わされました。

議論の中で、『鉄道とまちづくりのために、行政とどう関わっていくべきか?』ということが話題になり、各地の団体における様々な事例が紹介されました。ROBAからはメンバーの中にも行政マンや議員もいることもあって、行政や議会の“キーマン”を押さえることができたのが大きいとアドバイス。他方、宇都宮からは行政や議会が積極的であってもLRT実現に結びつかないこと（ファンドに買収されたバス会社がバス事業の収益を損なうことを理由に猛烈に抵抗）の事例も示されました。

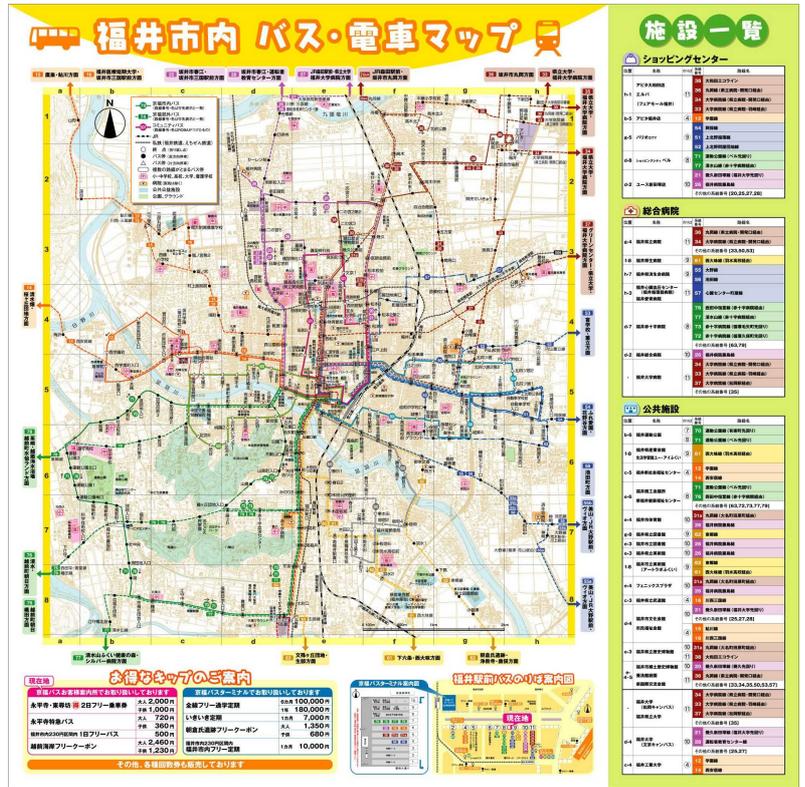
進行役の浅野さんの手際が良かったせいか、議論はわりとスムーズに進行していきました。ただ、美濃町線を復活させるにはもっと地元関市民の方に参加してもらいたかったように思います。

「のりのりマップ」の活躍

のりのりマップが福井市内バス電車の案内役として、京福バス市内バス案内所に登場しました。(様子は表紙を参照)

これによって、初めて福井を訪れのりのりマップを持ってない人でも、施設一覧や地図を頼りに行き先や路線番号を確認し、乗り場を見つけられるようになりました。また、必要な人は案内所でのりのりマップも購入でき、同じ情報を持ち歩くことができます。

今後、福井駅西口広場がバス電車の総合ターミナル化されることになっていますが、それに向けて、バス電車案内デザインの統一など、インフォメーションの連続性が、一歩だけですが、進んだことになります。(MAP 部会 林 博)



モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2008

今年もモビリティウィーク&カーフリーデーふくい2008を、9月21日と10月17 - 19日に実施します。テーマは「クルマを置いて街にしよう」です、多数のご参加よろしくお祈いします。

	NO	企画案	その内容	実施場所	実施時間	協力
9月21日	1	おもしろ自転車展示・試乗	業者やその顧客が所有する面白自転車や今どきの自転車を展示	福井駅東口広場	午前10時から午後4時	サカイサイクル
	2	自転車安全・マナークイズ・無料修理サービス・自転車乗り方教室	自転車の乗り方や交通ルールをクイズ形式にして、考えてもらう			
	3	カーフリーデーアンケート	カーフリーデーに関わるアンケート調査を通じてカーフリーデーをPR	福井駅東口広場	午前10時から午後4時	
	4	カーフリーデーパネル展示	カーフリーデー紹介パネル	福井駅東口広場	午前10時から午後4時	福井市環境パートナーシップ会議
			LRT関連 環境関連			
	5	カーフリーデーハチドリ計画2008展示	ハチドリ計画PRと10月5 - 19日の参加者募集	福井駅東口広場	午前10時から午後4時	エコプランふくい
6	10月17 - 19日予告	10月17 - 19日イベントの予告とPR	福井駅東口広場	午前10時から午後4時		
10月17 - 19日	1	第9回路面電車サミット会議	テーマ「ひと・まち・環境をつなぐLRT」	アオッサ、織協ビル他	10月17日午後1時から19日午後4時	
	2	カーフリーデー環境ツアー	秋の休日自転車を電車で乗せて三国へ行こう	えちぜん鉄道坂井市三国町	10月19日午前9時から午後4時	エコプランふくい
	3	カーフリーデーハチドリ計画2008抽選会	10月5 - 19日参加者及びクルマ以外の来場者による抽選会	アオッサ1F	10月18日午前10時から19日午後4時	エコプランふくい
	4	カーフリーデーパネル展示	カーフリーデー関連	アオッサ1F	10月17日午後1時から19日午後4時	福井市環境パートナーシップ会議
LRT関連 環境関連						

(モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2008 ローカルコーディネーター 林 博)

「ROBAGG」(ロバッグ)松岡 訪問記 080916

9月16日(火)午後7時から永平寺町松岡神明にある、芭里音(ばりのん)という蔵を改修したカフェで練習をしている皆さんを訪ねました。歌声を聴く前に、蔵を改修したお店の外観から内観までとても素敵で、すっごく心が休まる雰囲気のお店でした。

合唱団「ROBAGG」の名前の由来ですが、色々な名前を融合合体した名前だそうです。

「RO」はロイヤルとROBAから。「BA」はBari-Non[バリノン]から。この時点でROBAは完成されていますね。「GG」はアンサンブルGG[ゴールデンエイジ]という合唱団から。



そして、みんなが集まってROBAGG[ロバッグ]とすることです。ちなみに、ROBAをバックアップする合唱団の意味も含まれている?とも聞きました。メンバーは合唱17人・指揮者・ピアノ伴奏で総勢19名からなります。

いよいよ歌声です。まず発声練習からですが、この発声練習から本格的。合唱が好きで集まっているとの事でしたが、感激するぐらい本格的で終始感激しっぱなし。音楽の先生やプロの方も入っているようで、コンクールに出るような練習でした。男性合唱団らしく時には強く・優しく・弾むように歌い、歌詞の意味を大切に、また電車の風景が頭に思い浮かぶように歌って下さいました。本番はステージの都合により反射幕がありませんが、大丈夫です!と力強くおっしゃっていただきましたので、皆さん楽しみにしてください。



く・優しく・弾むように歌い、歌詞の意味を大切に、また電車の風景が頭に思い浮かぶように歌って下さいました。本番はステージの都合により反射幕がありませんが、大丈夫です!と力強くおっしゃっていただきましたので、皆さん楽しみにしてください。

ちなみに、作詞：内田桂嗣さん(ROBA)
作曲：林照翁さん(ROBA) 編曲：青山真さん(青山ハーブ)で作ったROBAのイメージソングです。(はた みゆき)



作/漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「ROBAGGの生ハーモニー聞いてきました。

皆さん必見(聴)ですぞ。10月19日(日)」

塚谷(副編集長)

「オバマ、マケインに負けるな!」

内田(発行責任者)

「多方面からサミットの間合せ増えてきたよ!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>